

財務諸表表示専門委員会における検討状況

公開草案「その他の包括利益の項目の表示」(IAS 第1号の修正案)に対するコメントの方向性の検討を行っている。コメント期限は9月30日である。

1. ディスカッション・ポイント

純損益及びその他の包括利益計算書の表示を1計算書のみとする提案について(質問2 関連)

(A案 - 1計算書のみとすることを否定しない)

- 2計算書方式にも有用性があるが、本公開草案では、純損益が十分に強調される内容となっていると考えられることから、1計算書方式か2計算書方式かは単なる表示の形式の違いであるとする。

(B案 - 反対を明確にする)

以下のような理由から、2計算書方式の選択を認めるべきであるとして、本公開草案に対して反対することを記載するか。

- BC19項では、純損益とOCIとの間の明確な区分が利用者に役立つとされているが、2計算書方式の方がより明確に区分される。
- 1計算書方式と2計算書方式の選択適用を認めた現行IFRS第1号の結論の根拠にある、大半のコメント回答者が純損益と包括利益合計の区別ができる2計算書方式を好んでいる状況に変化はないと考えられる。

その他の包括利益の項目の表示をリサイクリング・ノンリサイクリングで区分することについて(質問3 関連)

(同意する)

- IFRSの下では、リサイクリングされるOCI項目とリサイクリングされないOCI項目が存在するので、これらを区分して表示することで、企業の財務業績に対するOCI項目の影響がより明確になり、有用性が高まると考えられる。

(代替案)

- 純利益は企業の業績を示す重要な指標であり、OCIがリサイクリングされないことにより純利益の役割を大幅に変えることは回避すべきであるとする。このため、リサイクリングしないOCI項目の存在を前提とした質問については回答を行わず、末尾にその他のコメントとして、EDでのエングストローム氏の代替的見解を支持し、その他の包括利益に含まれる項目やその他の包括利益と純損益との調整であるリサイクリングについて包括的な検討を行うべきであると記載する。

以上